

# 平成29年度第5回 青年の家跡地等整備推進会議 会議録

日時：平成30年2月5日（月）  
 午後3時00分～午後4時00分  
 場所：富士見市役所1階全員協議会室

## 出欠状況

座長					
新井(幸)	吉川	吉野	新井(利)	千種	斉木
○	欠	○	○	○	○
佐藤	青木	大塚	水口	斉藤	岩村
欠	○	代) 上田	○	○	○
事務局	政策企画課（課長・副課長・担当）、協働推進課長、まちづくり推進課長、交通・管理課長、南畑公民館長、(株)オリエンタルコンサルタンツ				

内 容
<p>1 開 会                      ・鯉沼課長</p> <p>2 あいさつ                      ・新井（幸）座長</p> <p>3 意見交換事項（※進行は座長）</p> <p>（1） 利活用に関する基本方針について                      ・資料に基づき、事務局より説明</p> <p>○質疑</p> <p>参加者：メイン施設は、賑わいを創出し地域の活性化につながるものを整備する考え                      とのことだが、具体的な方向性は決まっているのか。</p> <p>事務局：施設における飲食の内容は、運営者が誰になるかによっても変わるため、今                      後の検討に併せて進めていく。</p> <p>参加者：方向性が決まっていれば、それに併せて利用しやすいデッキテラスの整備を                      するが、整備が先行する形になる。今後、デッキテラスを十分に活用できる                      方法を考えてほしい。駐車場の整備について、はつらつプロジェクト内では                      河川の適正管理ということで砂利敷までの整備となる。また、整備後は市や                      市民による維持管理をお願いすることになるため、役割分担などの調整を進                      めてほしい。</p>

参加者：利用者は車で来ると思うが、安全な利用のため、道路や駐車場が整備されるのか。

事務局：駐車場は、公園利用者増加への対応だけでなく、釣り客の利用も想定しており、拡充する考えでいる。

座長：多くの方に来場してもらいたいが、釣り客のみで駐車場が満車にならぬようよく考慮して整備してほしい。

参加者：資料の整備内容案にある歩道とは何か。また、自然ゾーンの水辺を整備すると釣り客が来ると思われるため、釣り場と釣り禁止区域を分けるなど対策が必要ではないか。今回の検討では、ソフト事業をハード事業に先行して進めるべきであったと思う。今後、ソフト事業の深掘りを進めてほしい。

事務局：歩道とは、北側のデッキテラス沿いにある遊歩道のことであり、既存園路とつなげて河川側と公園を周遊できるような整備を考えている。また、新たに整備する水辺空間は、整備目的に沿った利用となるよう調整していく。ソフト事業については民間企業や地元の方とも話を始めているが、ハード整備とソフト事業は当然連動するものであり引き続き検討していく。

参加者：管理運営者の検討や施設整備の検討にあたっては、どのような運営者を想定し、どの程度の賑わいが見込まれるのか、目標とする集客数はどの程度なのかを検証しながら、検討を進める必要があるのではないか。

事務局：市も管理運営手法の検討を進めていくが、当然採算性を考慮した施設の検討を行いながら進めていきたい。

参加者：2020年度以降の見通しはどうか。また、学校では遠足で公園を利用しているが、整備によって利用できなくなることはあるのか。

事務局：整備後もご利用いただける。工事期間中は一部が使用できず、ご迷惑をかけることもあると思うが、市の整備が全て終わるまで公園を利用できないということはない。

参加者：野川公園では、多くの市民団体を中心に協議会が設立され、様々に活動している。整備はしたが、管理は行政に任せるでは管理費が増えるだけとなる。様々な人を巻き込んでいく中で、来場者の滞在時間が長くなり、その先に売店や会議するスペースなどが必要になってくると思う。また、イベント広場については、最初は小さなイベントから始め、行けば何か行われているという認識が持てるように進めていけば良いと思う。狭い範囲で協議するだけでは人が集まらなかつたり商業的なものに偏り過ぎてしまう。地域に愛される場所とするためには、地元も近隣他市も含め広く仲間を募っていくと良いのではないか。

座長：多くの方が関わると意見の調整が難しいと思うが、様々な意見を取り入れてほしい。

事務局：ご指摘を踏まえ、地域に愛される場所となるよう進めていきたい。

参加者：将来、船に乗って浮島に行けるなどの考えはあるのか。

事務局：予算や安全面での検討もあり、現段階で出来るとは約束できない。

参加者：継続的に利用されている場所は、地域の方に愛されている。地域の方が積極的に利用されれば賑わいも出てくる。地域の方がこの整備箇所を使っていく中で一緒に協力をいただければ、大きな活動に繋がっていくと思う。また、河川は基本自由使用であるので、公園の管理として釣り禁止にすることなどを検討してほしい。葦原の火入れを検討することについては、実現へのハードルは高いと思うが、適切な維持管理となるだけでなく、地域の新しいイベントにもなって良いと思う。

座長：東大久保農地・水・環境保全協議会では、イベントなどに協力できるのではないかと話が出ている。

参加者：自然ゾーンの水辺は汚泥が溜まってしまうと思うので、定期的な掻い堀りが必要ではないか。舟を使い、水面から陸側を見ることは面白いと思う。水辺の環境を定期的に維持管理していくことを今後検討していかないと、釣堀で終わってしまうと思う。

参加者：一定の方向性を取りまとめたが、これで終わりではなく、これから市がどうしていくかが大事である。管理者の検討や施設の規模の検討、利用者数の目標設定などさらにリサーチをかけ、県とも調整を図りながら、スピード感をもって進めていきたいと考えている。

参加者：今後より具体的な作業の中で、この地域ならではのものを具現化して進めていければ良いと考えている。

参加者：現段階ではデッキや水辺整備はイメージとして示しており、工事発注のための設計を進める中でイメージとは異なる部分が出る可能性はあるが、今後のメンテナンスや地元市の意見等も踏まえながら工事に入っていく予定。来年度からデッキテラスの工事に着手する予定であるが、十分安全に配慮しながら進めていきたい。

座長：今回の意見を踏まえ、次回会議までに、より具体的に検討を進めてほしい。

## (2) 次回以降の会議について

- ・次回以降の会議については、次年度行う基本設計の進捗に応じ開催をお願いする。

## 4 閉会

- ・島田部長